

かかりつけ医・地域の医療現場



*1 SARC-Calf: 下腿周囲長とSARC-Fを組み合わせた指標で、下腿周囲長がカットオフ値の場合にスコアを10追加して評価する。

*2 SPPB (Short Physical Performance Battery): 簡易身体機能バッテリーで、測定項目はバランステスト、歩行テスト、椅子立ち上がりテストの3つからなる。各テストを合計し、0~12点で評価する。0~6点: 低パフォーマンス、7~9点: 標準パフォーマンス、10~12点: 高パフォーマンス

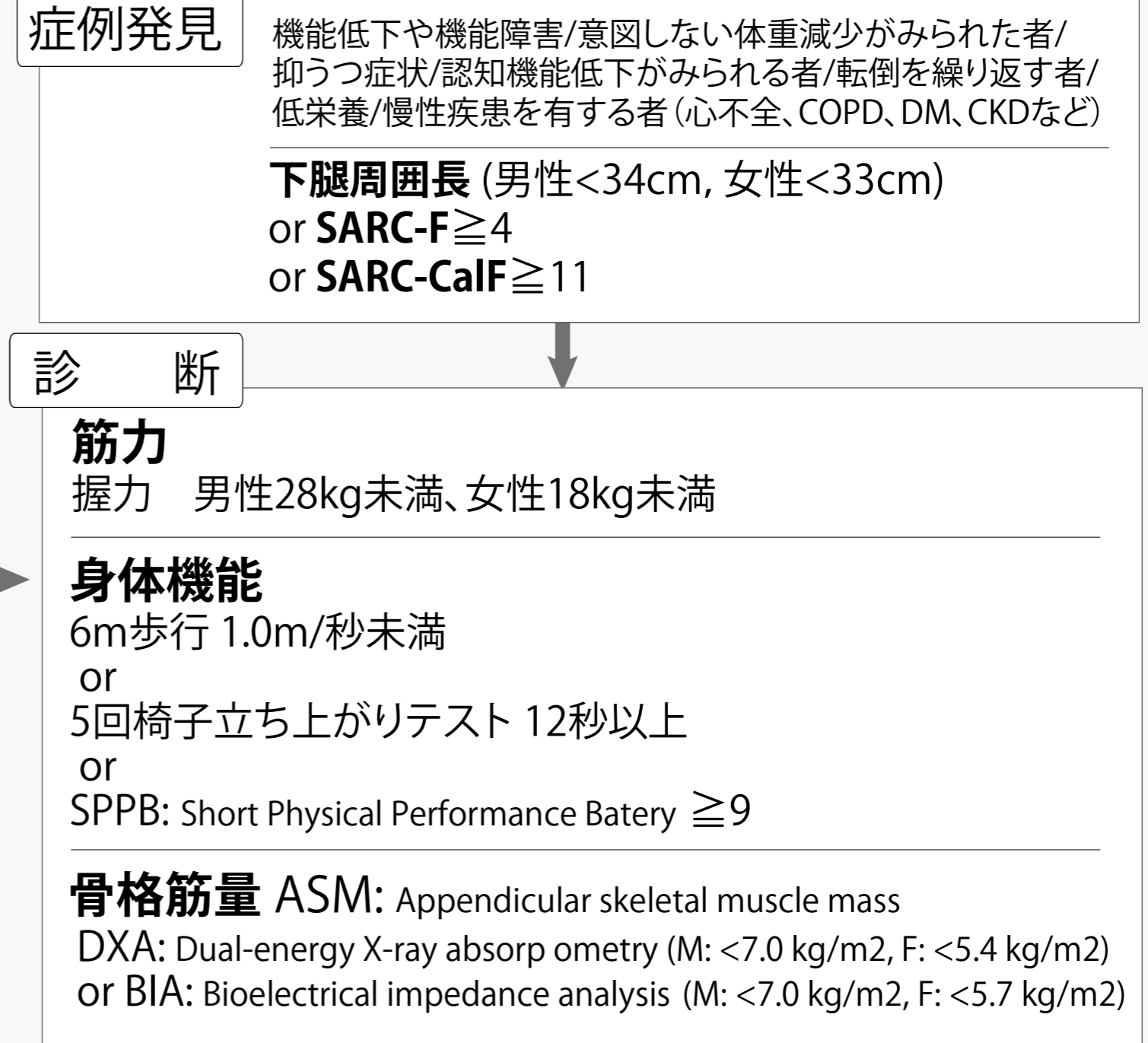
NSTからひと言
簡易的評価に…
指輪っかテスト

困めない ちょうど困める 隙間ができる

低 ← サルコペニア危険度 → 高

東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢: フレイル予防ハンドブックより引用

急性期から慢性期までの医療施設・臨床研究施設



サルコペニア
低骨格筋量+低身体機能
or 低骨格筋量+低筋力

重症サルコペニア
低骨格筋量+低身体機能
+低筋力

注) 骨格筋量については、BMIで補正するFNIH (Foundation for the National Institutes of Health) 基準も使用可能となっている(ただしDXAのみ)。
カットオフ値: 男性0.789 kg/BMI未満、女性0.512 kg/BMI未満